

市政担当記者各位

経済観光文化局文化財活用部
史跡整備活用課

11/9(土) 福岡城 工事見学会を開催します

来年春の竣工を目指している福岡城の潮見櫓復元工事の見学会を開催します。

今年初めの棟上げの後、工事も終盤を迎えており、現在は、当時の工法を用いた壁土(重ね塗り)の最後の工程である漆喰塗りをおこなっております。

貴重な文化財や当時の技術の魅力を体感できる見学会をぜひご取材いただき、市民の皆様への周知・広報にご協力いただきますようお願いいたします。



(現在の潮見櫓1階内部)



(現在の壁土見本)

1 開催日時

令和6年11月9日(土) 10:00 開始、12:00 終了

2 開催場所

福岡城 潮見櫓建物復元工事現場

福岡市中央区城内(舞鶴公園 三の丸広場内 北西隅) ※別紙地図参照

※雨天の場合も実施いたします。

3 参加者

申し込み不要。参加費無料。

※小学生以下は保護者同伴

※動きやすい服装(長袖・長ズボン)・運動靴などで参加してください。

4 内容

潮見櫓復元工事現場(1階)の見学や江戸時代当時の木材や瓦の閲覧など

※見学時間 30分程度を予定

5 その他

「ふくおか歴史文化遺産ウィーク」の一環として、(公財)福岡観光コンベンションビューローによる歴史的建造物を巡る「福岡城探検(まち歩き)」を同時開催いたします。

お問合せ先

経済観光文化局文化財活用部史跡整備活用課 中村・大塚

TEL: 092-711-4784 (内線 3810) FAX: 092-733-5537

メールアドレス: shiseki.EPB@city.fukuoka.lg.jp

《備考》

【国史跡 福岡城跡とは】

福岡城は初代藩主黒田長政とその父黒田如水(官兵衛)により、1601(慶長 6)年～1607(慶長 12)年にかけて築城された平山城です。城内は本丸・二ノ丸・三ノ丸で構成されています。城内面積は約 41 万㎡、濠を含めた総面積は約 110 万㎡で、九州の城の中でも有数の規模です。

城内には 47 の櫓があったとされ、その他に本丸御殿、御下屋敷など多くの建造物がありましたが、明治以降ほとんどの建物が解体・払下げ等で失われ、城内に現存する建物は多聞櫓などごく一部です。1957(昭和 32)年に国史跡指定を受けています。

【潮見櫓とは】

潮見櫓は木造二階建ての建物で、福岡城三の丸の北西隅に位置する櫓(やぐら)です。海上の監視を行ったことから名付けられたとも言われ、築城後の早い時期から絵図等でその存在が確認でき、文献によれば 1799(寛政 11)年に修理された記録が残っています。

1907(明治 40)年に旧藩主の黒田家の菩提寺である崇福寺(博多区千代)に払い下げられ、仏殿として使用されていましたが、その時に誤って月見櫓と伝えられてきました。しかし 1990(平成 2)年に調査を行ったところ、潮見櫓の証拠を示す棟札が発見され、正しい名称が分かりました。これを踏まえて、2023(令和5年)1月から復元工事を行っています。

【潮見櫓建物工事現場 地図】

